

県大会問題の解説

1回戦

A	1	西山荘は、徳川光圀の隠居所として、現在の常陸太田市に建てられました。水戸藩第2代藩主徳川光圀は、1691年(元禄4年)から亡くなる1700年(元禄13年)までを西山荘で過ごしました。
A	2	1886年、豊田郡水海道町(現常総市)で生まれた風見 章(かざみ あきら)は日本初期の政治家であり、司法大臣も務めました。常総市には、大正初期に旧水海道町役場として建てられた、表が洋風、裏が和風という二重構造でつくられた二水会館(にすいかいかん)という建造物も残されています。また、歌人や小説家としても知られている長塚 節(ながつか たかし)の生家もあり、「長塚節文学賞」という応募型の作品展も開催しています。地域のシンボルとしてそびえ立つ、薄緑色の屋根の地域交流センターは「豊田城(とよだじょう)」と呼ばれ、関東平野を一望できる建物となっています。
A	3	石岡市にある丸山古墳は、前方後方墳という珍しい形の古墳です。築造年代は、古墳の墳形や副葬品などから、古墳時代前期後半(4世紀後半)と推測され、県内最古級の古墳であると考えられています。
A	4	G1TOWER(ジーワンタワー)は、ひたちなか市市毛(いちげ)にある日立製作所のエレベーター研究棟です。高さ213.5mで、世界一(グローバルナンバーワン=G1)高いエレベーターの研究施設です。
A	5	未成年者喫煙禁止法、未成年者飲酒禁止法を成立させ不屈の政治家として知られている根本正の生まれた那珂市には、沖縄など暖かいところで栽培されているパイナップルを栽培している農園があります。また、民話4匹の狐(きつね)が残っています。さらに、額田(ぬかだ)台地の南東部縁(ふち)にあり、中世の城跡として現存している県内でも珍しい額田城跡(ぬかだじょうあと)がある。
B	1	水戸市の借楽園は、岡山市の後楽園、金沢市の兼六園とならんで日本三名園と呼ばれています。1841年(天保13年)、水戸藩第9代藩主徳川斉昭によって開園されました。
B	2	メロン、水菜の出荷額全国第1位の鉾田市は、本県第一次産業就業構造第1位です。また、鉾田市は、タレント磯山さやかさんが生まれたところです。
B	3	徳川慶喜(よしのぶ)は、1837年(天保8年)水戸藩第9代藩主徳川斉昭(なりあき)の7番目の子として生まれました。水戸弘道館で学んだ後、1847年(弘化4年)一橋(ひとつばし)家を継いで慶喜と改名しました。1866年(慶応2年)第15代将軍になりましたが、翌年の1867年(慶応3年)に大政を奉還した徳川幕府最後の将軍です。
B	4	霞ヶ浦ふれあいランドがあり、女優の永作博美さんの生まれた行方市では、9月上旬から12月上旬までの毎週土・日曜日に、観光帆引き船を操業し、間近で観ることができる「見学随伴船」を出航しています。また、チンゲンサイなどの農作物が有名です。
B	5	高山古墳は、横穴式石室(せきしつ)で、石室が際立って大きく、その大半が地下に構築されている点が、大きな特徴となっています。築造年代は、西暦7世紀頃、古墳時代の終末期に近い頃と推定されます。
C	1	戦後、日本の工業発展のもとになったのは石炭です。石炭は、黒いダイヤとも呼ばれ、重要な地下資源でした。日立地方でも、十王町に石炭が産出され、1965年(昭和40年)ごろまで掘られていました。
C	2	花貫溪谷や平成18年に完成した、県内で一番新しく県内で一番大きい小山(こやま)ダムのある高萩市は、「ソメイヨシノ」や「ワサビ」などの名前を付けた松村任三(まつむらじんぞう)出生地です。高萩市のマスコットキャラクターは、「はぎまる」です。
C	3	徳川斉昭の片腕、幕末志士の指導者と言われた藤田東湖(ふじたとうこ)は、斉昭が藩主になると抜擢されて藩の大改革を進め、弘道館の建設などに尽力しましたが、斉昭が幕府に処罰を受けると幽閉されて、その間多くの著書を著しました。ペリー来航後は江戸で活躍しましたが、安政の大地震で圧死しました。
C	4	東京都中央卸売市場における県産青果物のシェア(金額)は、平成26年は9.5%と、11年連続で日本一を堅持しています。
C	5	特急「ひたち」は、「上野東京ライン」の開業にともなう、ダイヤ改正により、水戸駅～品川駅間を最短83分で結んでいます。
D	1	野口雨情は1882年(明治15年)、多賀郡磯原町(たがぐんいそはらまち)(現在の北茨城市)で生まれました。東京専門学校(現在の早稲田大学)に入学し坪内逍遙に師事し、詩作を始めました。代表作には、「十五夜お月さん」「七つの子」「赤い靴」「シャボン玉」などがあります。
D	2	「磯節(いそぶし)」は、大洗、那珂湊あたりで唄われてきた座敷唄です。大洗町で生まれ、那珂湊で育ったともいうべきこの民謡は、東日本の座敷唄の代表格と言っても過言ではない名曲です。
D	3	洋画家として文化勲章を受章した森田茂さん、世界的に有名なオペラ歌手である、中丸三千繪(みちえ)さんの生まれた筑西市には、重さ約2トンの日本一重い神輿(みこし)があります。また、週末には、下館駅から栃木県茂木駅までSL列車が走っています。
D	4	石岡市の八郷地区は、甘柿栽培の北限地とされています。柿の産地としては、福岡県・岐阜県・奈良県などがよく知られていますが、八郷の柿は、「献上柿(皇室に献上する柿)」としても有名です。
D	5	茨城県内では、スギ、ヒノキ、マツなどの木材がとれますが、一番産出量が多いのはスギです。
E	1	四季折々の変化が楽しい日本三名瀑(めいばく)のひとつに数えられる「袋田の滝」は、高さ120m・幅73mの大きさを誇ります。大岩壁を四段に流れることから、別名「四度の滝」とも呼ばれています。
E	2	龍ヶ崎市の「コロッケ」は、「ご当地メシ決定戦2014」で日本一に輝きました。
E	3	「鉄腕アトム」などで知られる手塚治虫さんの先祖である手塚良運(りょううん)は、府中藩の侍医(じい:医者(いしゃ))でした。
E	4	河内町に生まれた医師としても医学界に多大な貢献をしてきた大野精七は日本のスキー普及の足がかりをつくりました。山や台地が無い河内町では、いちじく、レンコンなどが主に生産されています。
F	1	真壁藩(現在の桜川市真壁町)、笠間藩(笠間市)の藩主だった浅野家は、1645年(正保(しょうほう)2年)播磨国赤穂藩(兵庫県赤穂市)へと移りました。3代藩主長矩(あさの ながのり)は、1701年(元禄14年)江戸城中で高家旗本(こうけはたもと)吉良義央(よしひさ)に切りつけ、長矩は切腹、浅野家は改易(かいてき)となりました。そして、1702年(元禄15年)に家臣による吉良邸討ち入りが起こりました。これらは元禄赤穂事件(げんろくあこうろうし)(忠臣蔵)として有名です。
F	2	信濃川(367km)に続いて長い利根川(322km)は、別名坂東太郎と呼ばれています。このように、別名がある川は、吉野川の四国三郎(しこくさぶろう)、筑後川の筑紫次郎(つくしじろう)などがあります。

F	3	水郷の風景を多く描き、優れた水彩画家として日本芸術院賞を受賞した「小堀進」さんの生まれた潮来市は、東部は北浦、西部は霞ヶ浦と北利根川、南部は外浪逆浦(そとなさかうら)というように、水辺に囲まれた「水郷地帯」として自然豊かな町です。毎年、5月から6月に行われる「あやめ祭り」では、約500種100万株のあやめが植えられており、約80万人を超える多くの観光客が訪れています。あやめ祭り期間中には、サッパ舟を使った「嫁入り舟」が行われ、水郷潮来を代表する行事となっています。
F	4	2019年(平成31年)に茨城県で開催される国体の愛称は、「いきいき茨城 ゆめ国体」です。
F	5	神栖市は、ピーマンや掘り込み式人工港である鹿島港で有名なのはもちろんのこと、お正月の生花(せいか)である千両や若松の出荷額が全国第1位、また、息栖(いきす)神社は鹿島神宮・香取神宮と合わせて東国三社(とうごくさんしゃ)と呼ばれています。
G	1	茨城港からは週12便(夕方便と夜方便合わせて)、北海道の苫小牧にフェリーが就航しています。2011年(平成23年)には、太平洋沖で発生した地震により港内に大量の土砂が流入し、水深が大幅に減少しました。
G	2	茨城県の県南地域の利根町は近年、健康づくりに励む町として注目を浴びています。筑波大学協力のもと開発された「フリフリグッパ体操」は、認知症や生活習慣病を予防・改善する効果がある体操としてテレビ等でも取り上げられました。また利根町は川沿いの町ということで昔から堤防の補強工事が盛んに行われ、その中で「地固め唄」という作業唄が生まれました。民俗学者の柳田國男も少年期に布川の小川家に滞在しており、布川での様々な体験が後に民俗学を目指すきっかけになったと言われています。
G	3	徳川家康は筑波山を江戸城鎮護(ちんご)の霊山とし、3代将軍徳川家光の頃には御神橋(ごしんきょう)が寄進で造られました。御神橋は茨城県指定文化財とされており、通常は渡れません。御座替祭(おざがわりさい)(4月1日・11月1日)と年越祭(2月10・11日)の時に参拝者は渡ることができます。
G	4	茨城県のクインシーメロンは、生産・作付とも日本一です。特に、鹿行地区は一大のメロン産地で、水はけのよい火山灰土の砂地と海岸沿いの昼夜の温度差の大きい気候で甘くみずみずしいメロンが育ちます。
G	5	ミュージアムパーク茨城県自然博物館のある坂東市は、猿島茶で有名で、市の花が「茶」です。坂東ゆかりの平将門生誕 1,111年の2013年、色々な日本一を目指す取り組みの一環として88時間ソフトボールを実施しました。これは、ソフトボールの連続試合時間日本一となっています。また、2000年シドニーオリンピック柔道男子81kg級金メダリストの瀧本誠さんは坂東市の出身です。
H	1	弘道館は、江戸時代後期の藩校で、1841年(天保12年)水戸藩第9代藩主徳川斉昭が藩政改革の一環として開館しました。弘道館では、人文科学、社会科学のほかにも、医学や天文学をはじめとする自然科学についても学問の教育・研究が行われていました。
H	2	日立市十王町にある「鶴の岬」は、平成元年度から26年連続宿泊利用数が全国第1位の国民宿舎です。
H	3	「天保の改革」を行った水野忠邦は、直接結城市とは関係はありませんが、結城市山川の地は、水野氏の初代忠元(ただもと)が、大坂夏の陣の功績により初めて大名に取り立てられたゆかりの土地であり、11代忠邦までの水野家歴代当主の墓が結城市山川の万松寺(ばんしょうじ)にあります。
H	4	2014年(平成26年)、茨城県の農業産出額は4,292億円で全国第2位でした。第1位は北海道の11,110億円でした。
H	5	人口密度県内第1位、2008年すみよさランキング日本一の守谷市は、新進気鋭の若手アーティストを世界各国から招き、滞在中の創作活動の支援活動を行ったり、地域へのアート体験機会を提供するアーカスプロジェクトを実施しています。また、守谷市のイベントに登場するマスコットキャラクターの「もりやもり」はニホンヤモリがモチーフで、「守谷」と「ヤモリ」をかけています。
H	6	作家、下村千秋(しもむら ちあき)の生まれた阿見町には予科練平和記念館やあみプレミアムアウトレットがあります。また、阿見町の特産品は、南米アンデス高原原産の「ヤーコン」です。
I	1	筑西市内にある妙西寺(みょうさいじ)には「加波山事件志士の墓」があり、市指定文化財(史跡)です。墓域に並ぶ高さ4m余の角柱は、平尾八十吉(ひらお やそきち)、富松正安(とまつ まさやす)、保多駒吉(やすだ こまきち)、玉水嘉一(たまみず かいち)の墓碑で、裏面に没した日が刻まれています。
I	2	横山大観は、1868年(明治元年)水戸市に生まれました。東京美術学校(現在の東京芸術大学)を卒業した後、東京美術学校の先生になりました。38歳の時、北茨城市五浦(いつうら・いづら)に移り、師匠の岡倉天心らとともに絵を描きました。1937年(昭和12年)、69歳の時に第1回文化勲章を受章し、1954年(昭和29年)、86歳の時に茨城県の名誉県民となりました。
I	3	水戸市と鹿嶋市をつなぐ「鹿島臨海鉄道大洗鹿島線」は、銚田市内に、涸沼、鹿島旭、徳宿(とくしゆく)、新銚田、北浦湖畔、大洋の6駅があり、市民の大事な交通機関になっています。
I	4	豊かな食材を生み出す茨城をより多くの人に印象づけ、親しまれ、そしてイメージアップを図るため、県民の一般公募により生まれたのが、本県農林水産物統一キャッチフレーズ「うまいもんどころ」です。
I	5	ものまねタレントのアントキの猪木さんは、千代田町役場(現・かすみがうら市役所千代田庁舎)に勤める公務員でした。かすみがうら市の木に制定されている木は、「栗(くり)」です。栗は、古くから栽培され、全国有数の産地として知られており、枝にたわわに実る姿に豊かなめぐみへの願いを込めています。2012年(平成24年)に初めてかすみがうら市で開催されたエンデューロは、自転車で制限時間内にコースを何周できるかを競う大会で、県内外から多くの方が参加されます。また、かすみがうら市内に有する観光資源のほか、推奨指定や販売を支援していく市産の生鮮品や加工品等を象徴する統一ブランドネーミングである「湖山の宝」などがあります。
I	6	農人形(のうにんぎょう)は、水戸藩第9代藩主徳川斉昭が農民の労に感謝して人形に飯を供えたのが始まりです。農人形は、木彫りで1体ごとに手作りされる水戸地方の代表的民芸品です。
準1	1	バス高速輸送システムの英語標記 bus rapid transit(バス・ラピッド・トランジット) の頭文字を取って、BRTと言います。専用道路を走るため、道路渋滞の影響を受けず、時間どおりに走ることができます。
準1	2	平成24年度、茨城県の主要な果樹である「なし」は産出額73億円で千葉県に次いで全国第2位です。「幸水」「豊水」の2品種が栽培面積の8割以上を占めていますが、新品種「あきづき」や県オリジナル品種「恵水(けいすい)」の普及もすすめられています。
準1	3	「そ・ら・ら」は、小美玉市にある茨城空港近くに昨年オープンした県内初の空の駅です。
準1	4	穂積家住宅は4つの建物と庭園から成る豪農住宅で、1989年(平成元年)に茨城県の有形文化財に指定されました。中心的な建物となっている主屋(おもや)は、1773年(安永2年)に建てられました。古民家(こみんか)レストランやひな人形まつりなど、期間限定のイベントも行われています。

準1	5	はまぐりで有名な鹿嶋市は、戦国時代の剣豪、兵法(へいほう)家で鹿島新當(当)流(しんとうりゅう)を開いた塚原ト伝が生まれたところです。鹿嶋市は、昭和30年代後半からの鹿島開発で一大工業都市となりました。また、県立カシマスタジアムでは、2002年のワールドカップの試合も行われました。
準1	6	文献には「慶長11(1606)年、仙台藩は幕府より龍ヶ崎村を中心とした河内郡、信太郡の村々を所領として与えられた」とあります。この村のひとつが信太郡請領村(しだぐんうけりょうむら)(受領)です。
準1	7	アテネオリンピック女子柔道金メダリストの塚田真希さんの生まれた下妻市は、5月中旬から約50万本のポピーが咲き誇り、「花とふれあいまつり」では、10人乗りの手こぎボートによる鬼怒川流域交流Eボート大会が行われます。また、三重県の鈴鹿サーキット、静岡県の富士スピードウェイに次いで3番目に古い歴史をもつ筑波サーキットがあります。
準1	8	遠山喜一郎(とおやま きいちろう)さんは、1909年(明治4年)多賀郡坂上(さかうえ)村(現在の日立市)に生まれました。1936年(昭和11年)にベルリンオリンピックに体操選手として出場しました。
準1	9	「大日本史」は日本の歴史書です。江戸時代に、水戸藩第2代藩主徳川光圀によって開始され、光圀死後も水戸藩の事業として継続、明治時代に完成しました。1657年(明暦3年)に始まり、1906年(明治39年)まで約250年という長い年月をかけて完成しました。
準1	10	平成26年の輸入貨物量の第1位は自動車約495,000トン(メルセデスベンツ)、第2位が石炭約94,251トン、第3位が非金属鉱物約24,614トンとなっています。
準1	11	日立製作所の創業者の小平浪平(おだいら なみへい)さんは、わずか5人の仲間と外国製機械の修理をしながら、その仕組みを調べて研究を重ね、明治43年、自分たちの手で5馬力のモーターを完成させました。わずか5人で始まった電気機械の修理工場が、現在では世界的に知られる日立製作所です。
準1	12	城里町の古内茶は南北朝時代の1390年ごろから栽培が始まったとされ、茨城県内で最も古い歴史をもったお茶です。
準1	13	平将門(たいらのまさかど)は、平安時代中期、関東八カ国を制して都の帝(みかど:天皇)に対して「新皇」即位を宣言した。将門の乱は、瀬戸内海で藤原純友(ふじわらのすみとも)が起こした乱とともに「承平・天慶の乱(じょうへいてんぎょうのらん)」と呼ばれています。
準1	14	平成26年5月4日、かみね動物園で6匹のカピバラの赤ちゃんが生まれました。残念ながら1匹はプールの中で死んでしまったそうですが、合計6匹の出産は国内最多タイです。
準1	15	霞ヶ浦での漁はたくさんの人手を必要とするものでしたが、折本良平(おりもと りょうへい)が帆引き船(ほびきぶね)を使った漁法(ぎょほう)を開発したことにより、2~3人で多くの収穫をあげられるようになりました。
準2	1	岡倉天心(おかくら てんしん)は、晩年五浦(いつうら・いづら)(現在の北茨城市大津町五浦)に居を構える一方、横山大観(よこやま たいかん)ら五浦の作家たちを指導し、新しい日本画の復興を目指しました。
準2	2	茨城県では、平成25年度でなめこが104t、まいたけが435t、ぶなしめじが1,987t、生しいたけが619tと、ぶなしめじが最も多く生産されています。
準2	3	JRA日本中央競馬会のトレーニングセンターを有する美浦村は、競走馬の里として全国に知られています。このトレセンから出る敷き藁(わら)を堆肥化して、マッシュルームの生産が行われています。また、国指定史跡『陸平(おかだいら)貝塚』は日本人の手による初めての発掘調査が行われた、日本考古学の原点とも言える場所です。多くの土器が発掘されていますが、「双口土器」は全国的にも珍しい土器です。日本テキサスインスツルメンツ美浦工場は10階建ての大きな建物で、近隣の市町からもよく見え、美浦村のランドマークとなっています。
準2	4	茨城県の芝は、作付面積日本一の農作物で、そのほとんどがつくば市で生産されています。
準2	5	行方バーガーは、行方市麻生商工会を中心に開発されたハンバーガーで、「なめパッケン」には霞ヶ浦で養殖しているアメリカナマズ(チャンネルキャットフィッシュ)が使われています。他にも、鯉を使った「こいパッケン」、鴨を使った「かもパッケン」があり、行方市観光物産館等で販売されています。
準2	6	陶芸家でありながら、食、書、絵画などあらゆる分野で才能を発揮した「北大路魯山人(きたおおじろさんじん)」の旧家を北鎌倉から移築した春風萬里荘のある笠間市は、合気道の開祖・植芝盛平(うえしば もりへい)が、合気(気)神社を創建し、合気道の愛好者からは、聖地とされています。笠間市片庭の片庭ヒメハルゼミは国の天然記念物に指定されています。また、陶芸家の松井康成さんは、1993年、重要無形文化財「練上手(ねりあげで)」の保持者(人間国宝)になりました。
準3	1	六角堂は、北茨城市にある六角形の建物で、明治時代に岡倉天心が思索の場所として設計したものです。
準3	2	茨城県で2019年に行われる国民体育大会のマスコットキャラクターの名前は、「いばラッキー」です。
準3	3	江戸時代後期、牛久沼にて大久保今助が考案したと言われています。渡し船の乗客だった今助が、茶屋でうなぎのかば焼きとご飯を注文したが、出航時刻になってしまったため、丼飯(どんぶりめし)の上になぎのかば焼きがのった皿を逆さにかぶせて船に乗り込んだ。向こう岸に着いた時には、ふた代わりにしたお皿でうなぎのかば焼きがほどよく蒸され、絶妙な一品になっていたということです。
準3	4	結城秀康(ゆうき ひでやす)は、徳川家康の次男として生まれ、1584年に豊臣秀吉の養子となった後、1590年に結城晴朝(ゆうき はるとも)の養子となり、結城家18代目の城主となりました。結城では、新城下町(現在の北部市街地)の建設を行いました。1601年、越前国福井へ国替えになりました。
準3	5	「かすみがうらマラソン」は、全国の市民マラソン大会の中で、東京マラソン、大阪マラソンに次いで第3位の参加人数になったこともあります。現在は、目の不自由な方、身体の不自由な方の車いすマラソンも行っています。
決	1	東京都、愛知県、静岡県に次いで第4位です。 1人当たり県民所得とは、県内で生み出された価値を、その県の人口で割って出した金額のことです。
決	2	常陸太田市372km ² (第1位)、大子町325km ² (第3位)、つくば市284km ² (第4位)、水戸市217km ² (第8位)です。ちなみに、第2位は常陸大宮市348km ² 、第5位は笠間市240km ² です。
決	3	2016年(平成28年)5月15日(日)~17日(火)に、G7茨城・つくば科学技術大臣会合が開催されます。 【情報通信大臣会合(香川県)、農業大臣会合(新潟県)、環境大臣会合(富山県)】

決	4	茨城県を代表する銘柄豚「ローズポーク」は全国100を超える銘柄豚肉を対象に開催された「銘柄ポークコンテスト」の過去10年間の最優秀賞を受賞した銘柄豚肉が集結したグランドチャンピオン大会で3位に入賞し、品質が高く評価されました。
決	5	平成26年12月14日に行われた、茨城県議会議員選挙から県議会議員の定数が65名から63名になりました。
決	6	「江戸崎かぼちゃ」は、北海道の「夕張メロン」や、兵庫県の「神戸ビーフ」「但馬牛(たじまぎゅう)」などとともに、国が地域ブランドとして保護する「地理的表示保護制度(GI)」に、茨城県で初めて登録されました。江戸崎かぼちゃは、堆肥を活用した土や統一した肥料を使い、茨城県南部にある稲敷大地の関東ローム層で35年以上栽培され、1982年度(昭和57年度)に茨城県銘柄産地に指定され現在まで続いています。
決	7	御前山ダムは平成24年に完成し、県北部の水戸市を含め4市3町1村(水戸市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、茨城町、大洗町、城里町、東海村)を対象に農業用水を供給しています。
決	8	平成22年11月16日、ケニアのナイロビで開催されたユネスコ無形文化遺産保護条約に関する第5回政府間委員会において、結城紬の「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」への記載が決定し、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。染織(せんしょく)部門では新潟県の「小千谷縮(おちやちぢみ)・越後上布(えちごじょうふ)」に次いで2番目となります。
決	9	茨城県内の指定生産者が厳選した子牛を緑豊かな自然の中で20ヶ月から25ヶ月間飼育した黒毛和牛のうち、肉質の優秀なものだけが「常陸(ひたち)牛」として販売されます。飼料には、大麦、小麦、とうもろこし、大豆、乾牧草(かんぼくそう)、稲わらを使用することにより、良質な筋肉と脂肪を作り出します。※「ひたちうし」も商標登録されていますが、一般的に使用している読みの方を使用。
決	10	宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センターは、1972年、日本の宇宙開発事業の拠点として開設されました。
決	11	茨城県の海岸は太平洋に面し、ほぼ南北方向に伸び、延長190kmの単調な形状をしています。変化に富んだ18か所もの海水浴場があり、環境省が選定した「海水浴場百選」に選ばれたビーチが関東7か所のうち、5か所もあります。
決	12	2012年(平成24年)の『茨城県民の日(11月13日)』に、東京銀座1丁目にオープンした茨城県アンテナショップ「茨城マルシェ」は、2014年(平成26年)9月3日に、内外装等を一新し、リニューアルオープンしました。「心あったか 日本一 茨城県」を新たなコンセプトに、県産品・郷土料理の魅力を、茨城県民の心のあたたかさとともに、全国に向けて発信しています。
決	13	茨城県は、工場立地件数や立地面積、県外企業立地件数(電気業を除く)の3項目全てで全国1位となりました。件数と面積はともに前年同期を下回りましたが、3年連続で「3冠王」の座を守りました。工場立地件数は35件で、前年同期比16・7%減、立地面積は43ヘクタールで同37・7%減と、いずれも減少。一方、県外企業立地件数は22件で同22・2%増加しました。
決	14	茨城県の住宅敷地面積は、424.79㎡で全国第1位です。続いて第2位は山形県で407.61㎡、第3位は岩手県で404.12㎡となっています。(確報)